



SSH通信

第39号

令和6年10月31日 発行
 東京都立富士高等学校
 東京都立富士高等学校附属中学校
 〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1
 電話 03-3382-0601
 最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

高校3学年 3年間の軌跡

高校3学年が論文や英語論文の作成をとおして得た経験を、高校2学年に伝える異学年交流を実施しました。また、東京大学出前授業や高大連携授業など、最先端の内容を学習する機会もあり、生徒が挑戦する姿が見られました。

富士未来学V・VI「下級生の指導」高校2・3学年

高校3学年の生徒が、論文や英語論文を作成する際に「苦労したこと」「工夫したこと」「得られたこと」をまとめて、高校2学年の生徒に伝える異学年交流を実施しました。高校3学年の生徒1名以上と高校2学年の生徒2名がグループとなり、グループごとに発表と質疑応答を行いました。現在論文を作成し、今後英語論文に挑戦する下級生にとって貴重な時間となりました。また、探究活動の意義や面白さや探究活動で直面した課題や苦労など、下級生に伝えたいことを1枚のポスターにまとめました。



下級生へエール

富士未来学VI「3年間の軌跡」高校3学年

富士未来学における3年間の課題研究の振り返りを行いました。3年間の課題研究をとおして、自分の中で何が変容したか、自分の将来や進路にどのような影響を与えたかといった問いに向き合いました。15年後の活躍を期待しています。



3年間の軌跡

富士未来学I「プレゼン講座I」中学1学年

研究課題を設定した理由についてスライドを作成し、グループに分かれてプレゼンテーションの練習をしました。各グループで、活発に質疑応答をする姿が見られました。



質疑応答の練習

富士未来学III「データ分析講座III」中学3学年

偏りがあるコインかどうかを考えながら、仮説検定について学習しました。仮説検定は、得られた結果の差が有意かどうかを判断するために必要です。難しい内容に、相談しながら挑戦していました。



仮説検定とは

富士未来学IV「研究計画書講座」高校1学年

先行研究を調査し、先行研究にあたる論文を整理しながら内容をまとめました。先行研究でどこまで明らかになっていて、どこからが明らかになっていないのかを考えました。また、目的、疑問、問い、仮説を考え、検証計画も立案しました。



論文を整理

富士未来学V「ラボ活動」高校2学年

実験を進めている姿が各ラボで見られています。また、論文の中間提出に向けて取り組んでいる姿も見られました。異学年交流での上級生からの助言を生かして、粘り強く取り組んで欲しいです。



実験、実験

富士未来学Ⅱ「東京大学出前授業」中学2学年

本校卒業生で、SSH運営指導委員でもある東京大学名誉教授・東京電機大学特別専任教授の日高邦彦先生に出前授業をしていただきました。「電子から学ぶ勉強の楽しさ」という題目で、1円玉と10円玉を用いた実験から始まり、電子の解説や科学史、英語テキストでの解説と、濃密な2時間となりました。最後には論語を読み、勉強することの意義について理解を深めました。生徒たちは班の仲間と実験を行い、通常の授業では扱わないような高度な理科の内容を学びました。参加した生徒からは、「授業を通じて、各教科が互いに関連し合い、理科が社会や英語とも繋がっていることを理解した」といった感想が聞かれました。



勉強する意義とは

放課後理数教室 (Tokyo サイエンスフェア編)

科学の甲子園の東京都予選である、Tokyo サイエンスフェアに向けた勉強会を実施しました。毎年、各学校から選ばれた6名が一つのチームを組んで競い合います。筆記競技は物理、化学、生物、地学、数学、情報の6分野から構成されます。本校の高校2学年の代表生徒6名が、放課後の時間に卒業生の指導を受けながら、それぞれが担当する分野の勉強をしました。また、実技競技に向けた準備も力を合わせて行い、本番に備えました。忙しい中でも勉強会に参加し、集中して取り組む姿が印象的でした。



筆記と実技に挑戦

第1回学校説明会 10月5日(土)

代表生徒による口頭発表を実施し、中学3学年は「プレ課題研究」、高校2学年は「バックスピンの回転数と遠投における飛距離の関係」について発表しました。



富士の代表として堂々とした姿での口頭発表

高大連携授業 高校1学年：物理基礎 10月25日(金)

東京大学生産技術研究所准教授の川越至桜先生をお招きし、星の一生と物理基礎とのつながりについてお話いただきました。「一見関わりのないように見えることに繋がりがあがり、そこから新たな知見が生まれると分かった。どのような可能性があるか分からないからこそ、日々の授業を大切にしたい」などの感想が見られました。



STEAMとは

第6回理数セミナー 10月26日(土)

「環境問題の解決に貢献したい！ーリベラルアーツ教育から学べることー」

講師 国際基督教大学教養学部自然科学部門 上級准教授 峰島 知芳 先生
峰島先生をお招きし、リベラルアーツ教育、大気化学、そして研究者を目指した経緯と自身の大学院進学に関する経験を交えた話を講演してくださいました。講演後の生徒からは、「自分にとって必要ないと思っていることも将来役に立ったり、何かに繋がったりすることを学ぶことができた」といった感想が聞かれました。



大気化学とは